

文化（要約）

伊勢志摩国立公園では、観光客は、自然と深く結びついた地域の伝統、風習、祭りなどを見ることができます。

数千年もの間、太陽の神、天照大神は、太陽の象徴として、日本で崇められてきました。太陽の光は、当然、生命に欠かせないものです。この国でもっとも重要な神社である伊勢神宮は、この信仰の中心にあります。

今日でも、地域の文化は収穫や大漁の感謝をささげるための、古代の儀式や祭りに特徴付けられています。その一例が伊勢神宮の神嘗祭で、毎年 10 月、その年に最初に実った米をささげます。漁師や海女は海での安全祈願のために神社や寺に参拝します。伊勢神宮の別宮である伊雑宮は、漁業・農業コミュニティが恵みを受けることができる信仰場所の 1 つです。にぎやかな祭りは、人々の健康や豊作を祝います。

伊勢志摩では、観光客は、悪霊退散や海上での安全祈願に関する古代からのシンボルをたくさん見かけるでしょう。これには、建物の入口の上に飾られたしめ縄、海女の衣類や用具に付けられた星印や格子柄などが含まれます。